

教職員の多忙化解消・働き方改革 ～本校の「課題」と「取り組み」について～

熱海市立第一小学校

校長 片桐英生

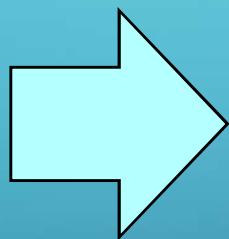
教職員の多忙化・長時間労働の問題点

- ①心身の疲弊→病気休暇・退職者増加
- ②能力開発の機会喪失
- ③望ましくない働き方を子供に示す
- ④教職は不人気職→教員の質の低下

多忙化解消へ向けての課題と対策

課題

- ①人手不足
- ②仕事量
- ③労働意識



対策や手立て

- ①人的措置
- ②業務改善・精選
- ③意識改革

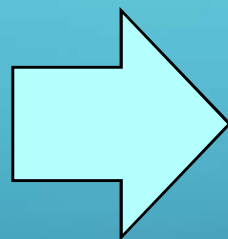
多忙化解消へ向けての課題と対策

課題

①人手不足

対策や手立て

①人的措置



令和4年度 熱海市立第一小学校 概要

●学級数 9 (2学級減)

通常学級 7 (1学級減)

特別支援 花(知的)1 (7)(1学級減)

虹(情緒)1 (8)

●全校児童

男子111名 女子86名 計197名(15名減)

●家庭数141(14家庭減)

令和4年度 熱海市立第一小学校 教職員概要

◎校長1 ◎教頭1 ◎教諭11 ◎養護教諭1 ◎事務1

●小学校専科教育(英語以外)1

●特別支援教育充実(特支学級多人数)1

●小規模学校支援加配1 ●共同学校事務室加配1

●研究指定校加配1 ●SSS1 ●SC1 ●SSW1

○市栄養士1 ○市事務1 ○市支援員6(欠1)

○環境保全員3 ○給食外部委託調理員(レクトン)6

「業務改善・精選」へ向けての大きな課題

(第一小の弱み)

児童・学級数減と教職員減

★30名 × 6学年 = 180名でも

10名 × 6学年 = 60名でも 同じ教職員数

★児童数は3倍違うが、学級数では同規模扱い



★学校の規模に合わせた運営へシフトを！

「業務の精選・業務改善」へ向けて

(第一小の強み)

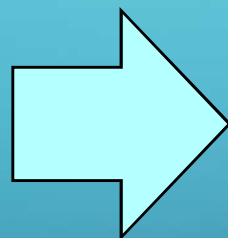
- ①学習支援員の配置、加配などの人的配慮
- ②PTAのバックアップ
- ③学童保育利用50%超
- ④学校事務再編のための指定研究校(R4～6)

多忙化解消へ向けての課題と対策

課題

対策や手立て

②仕事量



②業務改善・精選

仕事量→業務の精選・業務改善

●業務の精選・業務改善

- ①やめる ②へらす ③かえる



●教職員のジレンマ

「子供のためになるので...。」

「教職員として、やるべき使命だから...。」

「業務の精選・業務改善」へ向けて

(第一小の強み)

- ①学習支援員の配置、加配などの人的配慮
- ②PTAのバックアップ
- ③学童保育利用50%超
- ④学校事務再編のための指定研究校(R4～6)

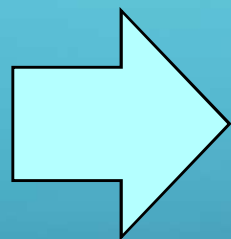
多忙化解消へ向けての課題と対策

課題

対策や手立て

②仕事量

③労働意識



②業務改善・精選

③意識改革

教育活動の見直しと日課変更

●働き方改革と業務時間の確保の視点から

①朝の活動の見直しと始業の10分前倒し

②朝の会・帰りの会の5分(計10分)短縮

③中休みの5分短縮

↓ ※下校時刻の前倒し

会議時間30分と個人業務時間30分の割り付け

学校事務再編のための研究指定(令和4～6年度)

●3か年の研究指定

令和4年度・・・熱海一小での研究実践

令和5年度・・・市内協力校での研究実践

令和6年度・・・市内全小中学校での研究実践



研究の成果を静岡県下の公立小中学校へ

学校事務再編のための研究指定(令和4～6年度)

令和4年度・・・熱海一小での研究実践

●校務の見直し→教員が行わずとも支障のない業務

例1)教科書無償給与事務

例2)学校から保護者へのアンケート調査(学校評価等)

例3)学年会計事務

●各業務のスリム化スクラップ化

●校務分掌表の変更と研修による教職員の意識改革

「できることを できるかぎり やりきろう！」

わたしたちは、「できる！」「やれる！」

IMPOSSIBLE → I'M POSSIBLE

熱海市立第一小学校

校長 片桐英生